

ワールドステイクラブの旅 報告

新春 品川東海七福神めぐり～旧東海道沿い巡り～

企画委員会

恒例の七福神巡りを催行しました。江戸の品川宿跡から旧東海道を南に向かい、沿道に鎮座まします七福神さまに順次参拝しました。家内安全、無病息災、金運到来、などなどを祈願しました。

品川宿の最寄り駅は、京急の新馬場駅です。京急線路と並行して第一京浜が走り、この駅から見上げる小高い丘の上に品川神社があります。第一京浜は、正月名物の箱根駅伝中継で何回も映像が出てくるお馴染みだと思います。参拝にはお決まりの長く急な石段への挑戦が必須です。ここの急坂を乗り越えれば、あとの七福神巡りはすべて平坦な道のりでした。

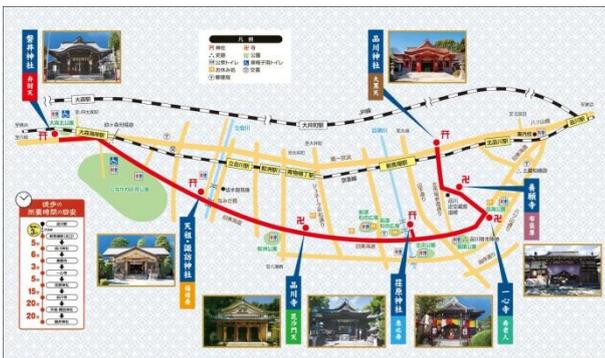
巡りは旧東海道沿いで、道の両側は商店街として賑やかで、正月のことで華やかさを演出する正月飾りが覇を競っていました。この旧東海道沿いには、七福神所縁の寺社に加えて、多くの神社仏閣が表通りに面して、また奥まったところにも厳かにあり、それぞれが新春の祝いの意を呈していました。七福神巡りに旧東海道の街歩きの楽しみの功德をたっぷり堪能できました。

日 時：2025年1月7日（火）半日

時 間：集合 京急新馬場駅 10時
解散 京急立会川駅 13時

順 路 ①品川神社（大黒天）→
②養願寺（布袋尊）→ ③一心寺（寿老人）→
④荏原神社（恵比寿）→ ⑤品川寺（毘沙門天）→
⑥天祖・諏訪神社（福禄寿）→
⑦磐井神社（弁財天）時間の都合で見送り
歩数 8千歩（5km、2時間50分）

地元観光協会の巡り案内図



参加者 19名

懇親会 立会川駅近くのお店をお好みで選び、分かれて反省会兼懇親会をしました。

出発の新春記念

品川神社参道大黒天前で、新年初撮影です。



ワールドステイクラブの旗が誇らしい

品川東海七福神めぐり 成立の由来

現在の東京都が発足する以前のこと、昭和7年に東京市がそれ迄の15区を広げて35区として発足しました。品川はその折に区部となり、それを記念してこの品川東海七福神が定められたそうです。

このような東京市の拡大、当時大東京市と云っていたようですが、その頃の歴史的経緯などが起点の品川神社に掲示してありました。その様子は、新東京百景の石碑に



ワールドステイクラブ：会報用テンプレート（**2 段用** 24 字×48 行）

残っています。

品川神社 品川区北品川 3-7-15



見上げる小高い丘の上にある神社で、社殿は朱塗りで立派です。当日の参拝者には、企業関係と思われる方々が目立ちました。企業繁栄の願をたっぷりと掛けてい

るでしょう。

参道は急な長い階段で、登り切ると朱塗りの社殿が目の前に現れます。この神社は、福德円満で財宝をもたらす大願成就の神、大黒天をお祀りしています。1187（文治3）年、源頼朝が安房国の洲崎明神を勧請したのが始まりだそうです。境内の奥まったところには、板垣退助の立派な墓がありました。



板垣死すとも自由は死なずの碑

この神社では、富士登山ができます。富士信仰の遥拝場所として、あるいは実際に富士山への登山ができない人のために作ったといわれている富士山が境内左手にありました。

～虚空蔵横丁を通り～

品川神社を後にして、第一京浜を渡ると北馬場参道通りで、ここを通り養願寺に向かいます。50m程歩くと、左手に路地がありここを曲がります。この道の右側には煉瓦造りの塀が続いている、虚空蔵横丁です。なかなかの雰囲気があり、突き当たると養願寺の脇に出ますので、回り込むと正面に出ました。



養願寺 品川区北品川 2-3-12



寛容で福寿・財宝をもたらす神、布袋尊をお祀りしています。1299（正安元）年創建の天台宗のお寺で、虚空蔵菩薩を本尊としています。千客万来・家運隆盛・家庭円満・

商売繁盛などで、ご利益のある神様です。

赤ちゃんを乗せたバギーを押し、参拝する方があり正月の家族の願いを感じました。

一心寺 品川区北品川 2-4-18



延命・長寿と福德をもたらす神の寿老人をお祀りしています。1855（安政2）年 大老井伊直弼により開山したと伝えられています。真言宗智山派

のお寺です。

ご本尊は成田山の分身である不動明王で、延命と商売繁盛の寺として信仰を集めています。旧東海道に直に面していて、当時ここを往来する旅人を見守っていたのでしょう。

～旧東海道の町並みを楽しむ～

品川宿からの旧東海道は、今でも江戸時代と同じ道幅だそうです。参勤交代がすれ違える7mほどです。この道幅で商店街として北品川から4kmほど続いています。



2009年からこの道筋の町会・商店街・商店会が協力し、石畳舗装や電線の地中化などを実施。品川宿にふさわしい、街並み創りをしているそうです。

町並みを楽しんでいると、ほどなく目黒川の橋に出会いました。この手前を右折して、つぎの参拝になります。

荏原神社 品川区北品川 2-30-28



荏原神社は、709年に創立され、現在の社殿は1844年に完成したそうです。品川の龍神さまとして、多くの信仰を集めました。商売繁盛の神様・恵比須を祀っていま

す。

荏原神社の恵比須像の背に、カンヒザクラが植えられています。1月末～2月には、鮮やかなピンク色の桜が花を開き、参拝者の目を楽ませるそうです。



明治御一新のことです、天皇が東下した折に休憩されたのがこの神社で、誇らしげな石碑がありました。

神社の傍を目黒川が流れ、そこには赤い欄干の橋が架かっています。七福神の気分が盛り上がりました。心なしか、新春を祝って川沿いの桜木の蕾が膨らんでいるような気がしました。



～青物横丁を通ります～

この付近は、江戸時代に青物市場があり、それが通り名となっています。



巡りの八百屋さんには、冬にもかかわらず葉物が多く並び、この付近の方の食の趣向を示しているようでした。今では珍しくなった畳屋さんが、何軒も店を構えていたのが印象的でした。

商店街こぞっての
観光案内所

品川寺 品川区南品川 3-5-17



品川寺は大同年間（806～810年）開創と伝えられています。この寺の名前は、「ほんせんじ」と読み、品川区最古の寺だそうです。

開運厄除けと財宝をもたらす神、毘沙門天をお祀りしています。毘沙門天は、七福神の中で唯一武将の姿をしていて、右手に宝棒、左手に宝塔、足の下に邪鬼天の邪鬼を踏みつけています。

入口にある大きな銅造地藏菩薩坐像は「江戸六地藏」の一つで、東京都指定文化財です。巣鴨にもその一つがあり、おなじみの方は多いと思います。

この寺には、七福神がすべて境内にありました。それぞれが石造りで、「金成（かのう）七福神」と立て看板がありました。いわば、こちらで七福神めぐりもできるというわけです。目を引いたのは恵比須様が鯛を抱えずに持ち上げている姿です。



街道を行く旅人の道中安全を見守って



ジュネーブ市友好碑と並んで恵比寿神

～鮫洲から立会川～

この付近では、旧東海道は南北に延びています。南に行くとも立会川に出ます。先ほどの目黒川よりずっと川幅は狭く、水量もさほど多くはありませんでした。この手前の道を右に曲がると、立会川商店街です。少々ここを進むと京急立会川駅になります。

坂本龍馬の銅像を発見

立会川駅の手前に公園があり、正面に坂本龍馬の銅像がありました。龍馬が19歳のとき、立会川の土佐藩が築いた浜川砲台の警備に加わったという説があり、これを顕彰したものようです。姿は、「20歳の龍馬像」だそうです。

天祖・諏訪神社 東京都品川区南大井 1-4-1



財宝と人望と出世をもたらす神様が福祿寿で、これをお祀りしています。天祖神社の創建は1100～1190年頃です。諏訪神社は、江戸時代初期の1631（寛永8）年以前の創建と

伝わっています。両社は、1965（昭和40）年に合祀されました。

福祿寿は、幸福（福）と財運（祿）と長寿（寿）をもたらす神様ということで、頭をたっぷり撫でるとご利益がいただけるそうです。

～磐井神社は次回のお楽しみ～

ゆっくり、ゆったりとした七福神巡りでしたが、足の疲労も考え最後の磐井神社は次のお楽しみとして残しました。

ここ迄、揃って踏破しました。正月気分が高揚し仕上げる健脚の巡り、健康に感謝した巡りでした。

参考までに

磐井神社 東京都大田区大森北 2-20-8



愛情と智慧を授け、富貴開運をもたらす神、弁財天をお祀りしています。平安時代後期編纂の『延喜式』などにも記載されている古社です。社殿の左、池の中に弁天島があり、ここに琵琶を持つ弁財天（東海七福神）が祀られています。

番外編 坂本龍馬

幕末の維新志士と言えば、薩摩、長州、土佐、肥前の「薩長土肥」の人たちです。品川には土佐藩の屋敷がありました。土佐藩の若き坂本龍馬は品川勤番で、その折に黒船を見たと推測されます。この付近に土佐藩が築いた浜川砲台があり、剣術修行で江戸に来ていた19歳の坂本龍馬も警備に当たっていたのです。

立会川公園の龍馬像は、20歳ごろの姿だそうで、草履を履いています。龍馬像は、ブーツを履いた姿の像を多く見かけますが、足元が違っていました。

旧東海道沿い あれこれ

東海道品川宿の跡 ～柱に記銘～

江戸日本橋を七つ立ちで、ここ品川宿には明け六つに到着します。陽が昇る頃なので、提灯の火を消すのが通例でした。



品川神社の階段～キツイ登り～

この付近の旧東海道は海岸沿いです。品川神社は小高い丘に建っていますので、つまり海面の高さから登ることになりキツイ急登になります。



歴史を感じる道標～虚空蔵通り～

「虚空蔵通り」の道標が、錆びていました。旧東海道の「みちしるべ」は、ビールの箱の後ろにありました。



歴史を感じる案内図～七福神巡り地図～

字が薄くなっていますが、分かりやすい地図です。旧東海道と京急が平行し、最寄りの京急の駅の場所がよく分かります。



歴史を感じるお医者さん～昔チックの医院～

まだ残っているのですね。大切に建物を保持しているのが、よくわかります。

明治40年建築だそうです。どんなお姿のお医者さんでしょうか、気になります。



歴史を感じるお店～昔風の建物～

畳屋さんの張店です。いまや畳のある住宅が少なく、見かけることが少なくなりました。

保存建物の状態ではなく、現役で活躍していることに力強さを感じました。いつまでも残ってほしいとは思いますが、・・・。



旧東海道沿いの寺社～奥まって鎮座～

東海道から奥まっけていて、厳かに創建された寺社が数々ありました。巡りの道中旧東海道の道すがら参拝しました。



旧東海道の松～東海道は松並木～

旧東海道沿いには、旅人を日差しや雨風から守る松が植えられ、これが松並木です。その歴史上の事柄に因んで、この巡りの途中でも松に出会いました。



(千葉県船橋市)

先日の柴又七福神に続き、今年2度目のお詣りをしました。何度も旧品川宿には訪れていますが、新たな気持ちで、今年の自身の健康と世の平和実現をお願いしました。また、今回は友人の方を誘ってお試し参加していただき、会の活動を紹介してなんとか入会に漕ぎ着けられればと期待しています。

誰かが教えていましたが、お願い事をする折にはまず、自分の住所と名前を名乗り、神や仏に認識していただき、その後願い事を言うようにするそうです。時間がかかり、長蛇の列の場合は気が引けますね。

今回は、弁天様をお願いできませんでした。歩くのに時間がかかり予定時刻をオーバーして、また立会川駅周辺の食堂が休みで昼食を皆さんと一緒できなかったことが残念でしたが、天候も良く充実した七福神巡りでした。ありがとうございました。

(神奈川県横浜市)

昨年は仕事の都合で参加できませんでしたが、今回は皆さんと一緒にできました。今年は息子達が集まったこともあり、幾つかの神社にお詣りすることになりました。こんなに多くお詣りしていいものなのでしょうか？疑問に思った次第です。願い事はどこでも同じでしたが・・・。

さて今回の七福神巡りですが、素晴らしい天気恵まれ、20人にもなる素敵な皆様と一緒にできましたこと、嬉しく思います（集合に遅れたにも拘らず）。この巡りで不思議に感じたのですが、七福神は神社とお寺と両方におられるのですね。神様は神社とばかり思っていましたので考えを改めたく思いました。またそれぞれの神社仏閣も大小様々なこと、本殿は鳥居をくぐって正面にあるものと思っていたのに、品川寺のように直角に曲がった場所にあるなども新しい発見でした。

旧東海道は、神奈川宿～保土ヶ谷宿～戸塚は踏破したのですが品川宿は初めてで、あらためて日本橋から旧東海道を通して歩いて見たい気持ちになりました。この品川宿の旧東海道はよく整備されていて歩くには一目瞭然、分かり易い道でした。他はまだこのようにはきれいに整備はされていないようです。

時間切れで最後まで回れませんでした。とあるお店で楽しい会食ができましたこと後々までの思い出にすることができました。ありがとうございました。7つ目のお詣りは、後日の夢にしたいと思います。

品川の七福神へ参加しました